

「Jリーグ下部育成チーム以外の町クラブで“ヴェルディ相模原”が一番多く、25名以上プロ選手を輩出していたことをみなさんは、知っていましたか?? ⚽・・・」

2023年度の東京ヴェルディ 本部ジュニアアカデミーテストに相模原支部スクール（チーム無所属、スクールのみで活動）の現4年生（10歳）の山本崇翔（ヤマモト シュウト）君が決定いたしました。

2023年4月にJ2徳島ヴォルティスへ入団した“田中颯”選手に続いてのお祝いです。その徳島v sヴァンフォーレ甲府（天皇杯優勝）の中心選手として活躍している三平和司選手もジュニアユース時代に北公園の土で成長した選手です。



今回、見事テスト合格をした山本崇翔（ヤマモト シュウト）君は、ヴェルディ相模原ジュニアスクール小学2年のはじめ少年チームを退団してスクールに入会。その後スクール活動の中で、常に上のレベルの5・6年生のトレーニングマッチなどを経験しながら成長。子供たちの自由な考え発想を尊重しながら全コーチたちが真剣勝負の場を提供しながら育成している。このところ多くのサッカー指導法を“Uチューブ等”で拝見します。どのチーム団体の育成指針もそんなに変わらないと思いますが、お子さんがサッカーを楽しみながら代表レベルの選手育成をするための環境作りを提供できるのは私たち相模原支部スタッフ以外に知らないでしょう。

読売クラブ（ヴェルディの前身）が生んだ元日本代表：松木安太郎、尾崎加寿夫、都並敏史、戸塚哲也などが、よみうりランドグラウンドで10数名の小学生の集団でスクールがなかった集まりの中から育ち、後に日本代表選手として活躍したことをみなさんは知らないでしょう。時を同じくして後に彼等の前に日本代表で活躍するトップチーム在籍の18歳の小見幸隆と17歳の私たちとの出会いがクラブの雰囲気を作っていた。

トップ練習後は子供たちとミニゲームをして毎日楽しんでいた。その時代のグラウンドで大人も子供も一緒に真剣に遊ぶ雰囲気が育っていた。そう言った雰囲気は日本国中探しても相模原北公園にしかないでしょう。

自分たちの目で見て、その匂いなどは肌で経験しなければ解らないと思います。

みなさんのお子さんも、そう言った匂いを感じに、いつでも無料体験にきてください。

先日、秦野市での4年生の8人制交流会を観戦に行った時のことです。

山本崇翔（ヤマモト シュウト）君はじめ4年生は3名、以下は1年生2名、3年生3名のメンバーみんな積極的にゴールに向かってプレー全勝していた。

彼は、守備になって危ないと思ったら後方へ戻ってカバーリング。奪ったら味方を生かしながらゴールを決めさせ、自分でも決める。自分のミスパスではない場面では“ごめんなさい！”と下級生に謝罪するシーンをみたとき、先日引退した中村俊輔の17歳時と瓜二つであった。

〔土持代表にインタビュー〕

【Q1】

この20数年で、ヴェルディ相模原育成から25名以上、多くのプロ・Jリーガー選手を輩出、現在もドイツブンデスリーグはじめ海外チャレンジ留学でも育成していますが、これだけ多くのプロサッカー選手を輩出している理由があると思いますが、そういった子供たちのどこを一番観ているのでしょうか？？・・・

〔土持代表〕

「プロサッカー選手になることも大切ですが、日本人的に言うと“さまざまな”6つの心”を持っているのかなどを重要視しています！」

加えてサッカー選手としての可能性を持っているスクール生などを育成をしながら「ヴェルディ相模原推薦制度」によりどんどん本部・東京ヴェルディはじめ他Jリーグ下部育成組織ジュニアユースチームへ推薦およびテストチャンスを作って送り込みます。なぜかっていうと現在は時間との勝負でもあります。

最近Uチューブ等でビックリするような足元テクニックが簡単にSNS等で拝見できる＝宣伝できる時代となりました。良い部分では画像を停止しながら、どうやっているか？・・・しっかり観れるのでドリル練習ができることでボールに慣れるトレーニングにもなるので少年のレベルアップには良いと思いますが、先程もセンスの話をしました。私たち指導者は子供たちの良いセンスを見つけどれだけ引き延ばすかなのです。

付け加えておきたいのはJリーガーであれば、ビックリするような足元テクニックはみんなできるのです。

ただトップ代表レベルのスピードの中で“ああいったボールを引くテクニックプレー”をみなさん見たことあるでしょうか？？・・・無いですよ！？

上の実戦レベルで使えるフェイントやドリブルを教えられない指導者は簡単に言うと高い世界レベルを知らないからです。曲芸サーカスではない実戦で使える本当のテクニックを身に付けないと「お前は判断が遅い・・・」と言われる選手の育成はどうかと思います。

大人でも子供でも成功、失敗を多く繰り返せば、どんな人間でも言われなくても満足感や反省はするでしょう。大人の判断でダメと言う言葉が子供たちのプレーにブレーキを掛けサッカーをすることが面白くなるのが一番ダメですよ？・・・

最終的には心のあたたかいお子さんが日の丸付けてますよね。先のワールドカップ日本代表の三苫選手などは素晴らしい心の持ち主だと思います。・・・そういった話をヴェルディ相模原のアドバイザー：祖母井秀隆氏との話から三苫選手と遠い繋がりがあったことを聞いてビックリでした。

〔 会員募集中！ 〕

- ① **新ジュニアスクール生募集…Jリーグチームに推薦および入団テストチャンス。**
- ② **新 U-13～U-15 ジュニアユース会員募集…本部ユースはじめ名門高校へ推薦。**
- ③ **新 U-18 ユース会員募集中…Jチームおよび名門大学サッカー一部推薦。**

〔20230301-2 次へ続く推薦〕